第5回 統合準備会

日時 令和2年12月23日 午後7時00分~

場所 森町文化会館 小ホール

内容 学校教育課長挨拶

全体会議

(1) 統合準備会での意見・質問と回答について

(2) これまでの検討経過について

(3) 学校における統合に向けた取り組みについて

連絡事項 次回統合準備会開催日 令和3年2月16日火曜日

司会:学校教育課長補佐 進行:三倉小学校教頭

発言要旨

発言者	内 容
学校教育課長補佐	開会。最初に学校教育課長から挨拶をする。
学校教育課長	12月2日に、来年度、三倉・天方地区から森小へ入学する児童の保護者を対象に、統合準備会の検討状況について説明会を行った。天方幼稚園に通う園児の保護者が出席してくれた。 統合準備会については、今回を含め、残すところ2回となった。委員の皆様には、熱心な検討をしていただき、具体的な課題について対策を検討してきた。 本日の準備会の進め方は、これまでの検討内容について、グループに分かれずに全体で確認いただきたい。 「これまでの検討経過について」は、基本的には承認いただいた資料を掲載した。放課
	後の過ごし方については、新たな提案もあるので、質問や意見をいただき、課題があるものについては、次回までに検討したいと考えている。 また、次回第6回をもって準備会は終了となるが、学校生活が始まってから新たに課題や不都合が発生した場合には、学校に相談していただき、課題によっては教育委員会や町と連携して対応を考えたい。
三倉小学校教頭	3全体会議に進む。 (1)統合準備会での意見・質問と回答について、事務局から説明を求める。
学校教育課長補佐	資料1ページから6ページに前回までにいただいた意見や質問と回答を一覧にした。灰色の項目は回答済みのもの、色なしの項目が、引き続き検討するものと、第4回でいただいた意見に対する回答となっている。主なものを説明する。2ページの教育分野の③「放課後の過ごし方」の11点目、バスの待機場所について「参観会や行事等のある場合は、終わるまで待機させてほしい。」という意見や、12点目「バスに乗らない場合でも利用させてほしい。」という意見があった。これについては、家に帰ると児童が1人になってしまうなど、やむを得ない事情がある場合は、待機場所を利用できるものとする。13点目は、バスの待機場所利用の把握や変更時の連絡調整方法についての質問。13ページの放課後の行動確認表で利用状況を把握し、変更カードで変更を連絡することを想定している。14点目、バスに支援員が乗ってほしいという意見も出ていたが、慣れていけば秋葉バスの運転手も親切で声かけ等してくれるから大丈夫ではないかという意見があった。9月の交流時に三倉小の児童がバスで帰っており、難しくなかったという感想が見られた。12月の交流でもバスを利用した。子供たちが慣れるということが大事であり、安全な登下校について、両面から対応を進められたら良い。地区名・バス停を記載したテープをランドセル側面に貼り、分かりやすくする取り組みを検討している。これについては、森小において1年生のときに実施している。16点目は、17時のバスのデマンドの予約についての質問。これについては、12ページでも説明するが、常駐の管理人がいない施設で実施することについて、内諾を得ているスタッフと協議した結果、安全面を考慮し、放課後子供教室の終了時刻の変更をお願いする。そのため、17時台のバスは利用しないものとしたい。

発言者	内 容
学校教育課長補佐	4ページ、通学分野の②通学時の安全確保の17点目は、秋葉バスで全員が重なった
	場合のルールについての質問。12月10日に三小学校交流があり、バスを利用した様子を情報共有していく。
	5ページの25から27点目については、バスの定員に関する意見。吉川線については、
	定員に余裕がない状況が常態化するような場合は、年度途中であっても車両を変更する
	など、対応を考える。秋葉線については、秋葉バスへ対応できる範囲で定員が多いバス を動かしてもらう等依頼していく。
三倉小学校教頭	(1)統合準備会での意見・質問と回答について、質問や意見はあるか。
	質疑なし
三倉小学校教頭	(2)これまでの検討経過について、事務局から教育分野の説明を求める。
学校教育課長補佐	7ページは、ア 教育分野『警報発令時・解除時の対応』基準で、第3回で承認されたもの。着色部分は変更があるところ。三倉小・天方小の基準に合わせて、森小の基準を変更するもの。
森小学校教頭	8ページは、『森小の令和3年度の週日課表』。前回の資料では、水曜日の6時間目に 委員会やクラブがあったが、他の曜日に実施するように変更した。
学校教育課長補佐	9・10ページは『学校指定用品の取り扱い』で、第4回で承認されたもの。用品の支給フローについて、⑥は学校を通して保護者に支給するように変更した。
社会教育課長	11ページの表は、放課後の行動パターンを示したもの。
	①バスの待機場所に関する決定事項について。場所は森小の教室、利用できる日は 通常日課の月・火・木・金。1年生は4月の水曜日に13時台のバスで帰宅しない場合は、
	利用可能。
	待機場所は、4時間又は5時間で終了する低中学年の児童が、高学年の児童と一緒に
	バス下校するために高学年の終了時刻まで待機するために利用するもの。森小の週日 課表に合わせて利用できる学年を表にかっこ書きした。表の特別日課の欄にかっこ書き
	で「待ち時間が長いときのみ」と記載したが、日課表の調整の結果、待ち時間が長くなる
	日は、ほとんどないと考える。保護者から要望のあった、バスに乗らない場合も、高学年
	の終了時刻までは利用としてほしい、参観会や行事等のときも利用したいとの意見があり、バス下校できないやむを得ない理由の場合は利用できるものとする。
	バスに乗らずに保護者が迎えに来る児童がどの程度いるのかどの程度の頻度か調査
	した結果、一定数該当があり待機場所を利用しない高学年の児童がバスに乗らない
	ケースがあった。 待機場所の利用の有無にかかわらず保護者が学校へ迎えに来る場合は、 事務室に声をかけ学校の指示に従って児童の引き渡しを行うものとする。
	支援員は当面2名配置し、バス時刻の声かけや慣れるまでの間のバス停までの見届
	けを行う。状況を見て、1名とすることも検討している。
	②放課後子供教室の実施について、現在の天方小で、毎週水曜日に三倉・天方地区 の合同実施とする。移動児童館については、森町児童館の了承を得ている。スタッフは、
	現在の放課後子供教室のスタッフの三倉小・天方小それぞれから1名、その他男性1名
	にも内諾を得ており、3名で実施予定。流れは資料のとおりだが、内諾を得ているスタッ
	フと打合せをしたところ、先生方がいない施設で安全に実施するため、明るい時間に帰宅するようにという要望があり、最終時間の繰り上げをお願いする。
	七9 るようにという安全があり、最終時間の繰り上げをお願いする。 怪我をした場合は、保護者の方に連絡し、各家庭で受診等お願いしたい。
	バス通学の児童の行動確認のために、資料にある行動確認表に記入し学校に提出し
	ていただく。変更については、変更カードを学校に提出することを検討している。
三倉小学校教頭 三倉小PTA	(2) これまでの検討経過について、教育分野についての質問や意見はあるか。 三小学校交流の際参観会で名札をつけていた。名札について布に縫い付けたものや、
	クリアケースが必要か。
天方小PTA	参観会で森小学校の児童が国語辞典を同じ物を使っていた。揃った物が必要であれば支給して欲しい。
三倉小PTA	参観会で給食用フキンはトレイを使うようになったのにフキンを敷いている児童がいた。 来年度からみんな一斉に不要になるか確認したい。
森小教務主任	名札については、名入り名札のことで、布につけている子もいれば、ケースに入れている児童もいるが、指定は無い。
	国語辞典については学校にある辞書を使っている。
	給食用フキンについては、今までずっとフキンを敷いていたため、フキンを敷く児童がいるが、強制的ではない。来年度以降については検討していく。
三倉小学校教頭	国語辞典は天方小や三倉小の児童が入っても学校の辞書を使える。 給食用フキンは、検討していくと言うことは、使うかもしれないと言うことか。

発言者	内容
森小教頭	給食のフキンについては 新入生入学説明会の際に特に必要ないことを説明をし、在校生についてもそのタイミングにあわせてフキンは敷かなくて良いことを伝えていく。しかし、今までの習慣になっているため、敷いてはいけませんと指導はできないと思うので、しばらくの間は敷く子と敷かない子ができてしまうがやってみないとわからない。
森小PTA	フロッキーネームは体操ズボンに付ける物だが、5枚1組ではないか。5枚あれば足り ると思う。
学校教育課長補佐	10枚1組は間違いで5枚1組が正しいため、訂正をお願いしたい。
三倉小学校教頭	5枚で足りると意見もあったため、5枚1組に修正をする。
三倉小PTA	バスの待機場所の支援員2名の現在の確保の状況はどうか。また、声かけなども必要なので2名で足りるのか。
社会教育課長	運営体制については、バス停まで付いていく支援員と、待機場所の部屋で見守る支援 員の2名を想定しているが、現在まだやっていただける方を確保できていない。
三倉小学校教頭	放課後の過ごし方は工夫して提案してもらった。行動確認(案)はもう少し工夫されて変更されていくかもしれない。担任や待機場所の支援員が見通しを持って把握できるように考えてくれている。これで進めていただくことでよろしいか。
	質疑なし
三倉小学校教頭	続いて、通学分野について事務局から説明を求める。
学校教育課長補佐	14ページは、イ 通学分野『令和3年度のバス運行』の運行図で、第2回で承認されたもので一部変更がある。三倉地区の中学生は、夢街道線で森林組合前から森中学校入口バス停まで直行する。三倉地区の小学生は、大河内線で森林組合前から黒田を経由して遠州森町バス停まで直行する。 15ページが大河内線、16ページが吉川線、17ページが秋葉線の時刻表。吉川線については、バス停の移設の関係で時刻表が一部変更となる。
	18ページは、『町営バス 遠州森町バス停移設』案で第4回で提案し、承認されたもの。 前回説明したとおり、令和3年の4月からバス停の移設を予定している。 19ページは、『通学経路の確認』で、第4回で承認されたもの。 先日も、警察、施工業者、道路管理者、防災課、学校教育課で現地を再度確認した。
社会教育課長	こども110ばんの家について20ページから23ページを説明する。森小学校北側の地図、森小学校付近、三倉森林組合バス停付近、天方元開橋バス停付近のことも110ばんの家の場所を示してある。 町内回覧でこども110ばんの家の協力を呼びかけ、通学路付近の商店には直接協力の呼びかけをした。 来年の3月を目途に、三倉小学校天方小学校を通じて今後それぞれの家庭に地図を配布する予定である。家庭に届いたら確認をしてほしい。
学校教育課長補佐	24ページは、『特別な日課への対応』の資料で、第4回で承認されたもの。できる限りバスの待ち時間が長くならないように、また、帰宅時間が遅くならないように日課表が示された。
三倉小学校教頭	通学分野についての質問や意見はあるか。
天方小PTA	秋葉線の定期券について土日はどのように対応するのか。吉川線の回数券について 定期券を持たせることはできないのか。回数券の管理が大変、降車の際の運賃を渡すと ころでもたつく。また、大河内線車両に西俣の児童も乗せてほしい。
企画財政課長	回数券を定期券にできないかの質問については、定期券制度の導入については、地域住民の方との事前調整し、町の公共交通会議で承認をいただいたうえで、運輸局へ申請する。また、使用料に関する町の条例の改正をする、という一連の事務が発生する。スケジュールで言うと1年程度時間がかかる。質問の趣旨として回数券を複数枚使うため準備の煩わしさを回避することであり、定期券制度が実際に実際に良いのかかどうか、運行委託先の現場の声を聞きながら教育委員会と一緒に、それに代わる対応があるかどうかも含めて研究が必要である。4月からの導入は難しい。

発言者	内 容
企画財政課長	2点目、大河内線の席が空いているので、西俣地区の児童を乗せられないかとの意見
正画别以床及	については、秋葉バスの混雑緩和のための提案と受け止めた。基本的に公共交通については道路運送法の基に、役割分担がある。民間バス、町営バスの適切な役割分担、連携をしながら地域における足を確保している。そして、三倉地区において、直行便・夢街道線を導入した理由については、秋葉バスへの乗り換えの負担の軽減、自宅からバス停までの距離が遠く、地形も急峻であるなどの他地区にはない特別事情を抱えているためそれに対応するための取り組みの経緯があり、それに対して、NPO法人やまゆり三倉から提案をいただいた中で進めている。以上のことから、秋葉線沿線の天方地区の児童が直行便に乗車するという整理は困難である。そのため、秋葉線沿線の西俣地区の児童を大河内線に乗車させることは、現時点では考えていない。現在、中学生は秋葉線を使って通学しているので、現状の通学実態を考えれば、秋葉線を引き続き使った方が簡便であると考えられる。以上の点から、現時点では西俣地区の児童を乗せることは考えていない。 ただし、通学の様子を見ながら、また、秋葉線での通学の際、立って通学することに対する課題が発見されるような場合については、毎年の児童数が変化する中で教育委員会ともども協議検討していくようにする。
森小学校教頭	土日の登校日は、現在、運動会とバザーを行っている。土曜日、日曜日にバスで登校できない場合は検討しないといけないと考えている。バザーについては参観会懇談会バザーを併せて開催しているが、曜日について検討していかないといけない。運動会については現在、三倉小学校、天方小学校の運動会は保護者の送迎をしていると聞いているが、保護者の協力が得られるかを確認しながら、土曜実施が可能なのか、場合によっては中学のように平日実施する必要があるのかを検討していく。また、祭典の時期がずれているため、春夏秋の開催日程時期についても検討が必要である。今の段階では具体的にどうしていくか決まっていないが、時期や曜日、時間についてバスがないことで困らないように計画を立てていく。
三倉小学校教頭 	今後教育課程を組んでいく際に大きな検討課題となっていくと思っている。三倉・天方 地区の事情を考慮して考えてくれるということでよろしいか。
天方小学校長	公共機関と町営バスとの位置づけについて、大河内線の遠州森バス停までの直行便は、乗り換え負担解消のためと説明があったが、森林組合前で乗り換えがあると特に乗り換え負担解消ができないのではないか。
企画財政課長	大河内線が森林組合前で終点となり、低学年が乗り換えが心配であると意見がでていたため、小学生は特に乗り換えない計画である。併走するからこそノンストップで運行する必要があると整理している。天方地区の児童には秋葉線が手段として確保されているため、そのまま秋葉線を利用するようになる。
三倉小学校教頭	前回承認をいただいているバス体系なので、来年度はこの形で進める。来年は様子を見ながら実施していく。年度途中でも問題があれば対応していくと言ってくれているので、途中で心配なことがあれば学校を通じて伝えてもらうように進めていく。来年の登校の様子について各学校から取り組みの説明をする。
天方小教務主任	天方小では4月からのバスを利用した登校の練習として、3月に2回行う予定。 確認することとしては、各児童が最寄りのバス停から乗車し、遠州森町バス停まで乗車 してみること、遠州森町バス停下車後、森小学校まで来年度の通学班を想定して森小学 校まで歩いてみることの2点。教師もバスに乗車し様子を見守り、できるだけ子供たちが 4月からの生活を想定し、子供たち自身が考えて動けるように事前に指導しておいたうえ で登校練習していきたい。
三倉小教務主任	三倉小も3月に2回試験登校を行う予定。三倉地区については、現在運行されていない路線で登校するため、4月からの運行と同様にバスを出してもらって練習する。教員は、安全を確保し、子供たちが各自の家から森小まで登校できるように練習したい。
三倉小学校教頭	続いて、PTA分野について説明を求める。
森小学校教頭	1番の令和3年度役員構成について、現在決定していることとして、現森小学校から会長が選任されている。副会長についても選出済みである。3番の地区委員についても選出済み。来年度については天方地区から西侯、黒石・葛布、大鳥居、問詰・鍛治島の4地区から4名、三倉地区1名の地区委員を選出してもらった。学年委員については、令和3年度に限り、現森小の中から選出する。 今後、規約については各学校の規約を比較し、森中の規約も参考にして原案を作成し、令和3年度4月総会で承認を受けて決定していく。 各部の活動については、来年度実施する中で無理なく効果的に行う方法を試行する。
三倉小学校教頭	PTA分野についての質問や意見はあるか。
	質疑なし

発言者	内 容
三倉小学校教頭	続いて、事務分野について説明を求める。
天方小学校校長	事務分野については備品の移動について、森小を優先に三倉小・天方小で集計し選定した。業者に依頼しないといけないものは見積もりをとって学校教育課に相談した。今後の各校への備品移動について通知し、3月末でなくても移動できる備品は、先に移動する。行き先の学校が備品を取りに来るようになる。
三倉小学校教頭	事務分野についての質問や意見はあるか。
	質疑なし
三倉小学校教頭	(3)学校における統合に向けた取り組みついて、各学校長から状況の報告を求める。
三倉小学校長	まもなく2学期が終わろうという時期になった。 新型コロナウイルスの影響で、9月に第1回三小学校交流が始まった。それまでは、直接交流ができなかったので自己紹介など写真、活動写真の掲示などを実施した。また、リモート交流を実施した。 ・子供たちは大集団に対する不安な気持ちがあったと思われる。5年生は来年のリーダーとなるが、宿泊訓練を合同で実施した。いろいろな交流ができ、知る機会が多かった。12月に第2回の三小学校交流を実施したが、回数を重ねる中で子供たちは少しずつ自分自身に自信をもって交流ができるようになってきた。 最近では身近な不安に目が向き始めた。バス通学についても、3学期も実際の時間を使って練習をして行く中で、子供の不安を解消していく。今は三倉小の思い出を大切にしていくこと、新しい学校へ希望を持って進めてあげられるよう職員一丸となって進めていく。
天方小学校長	令和元年度から三小学校交流を4回実施し、天方小学校の児童は違和感なく馴染んでいけると感じた。少数の子は抵抗感を持って教室で泣き出してしまう児童もいたが、個別の対応をする中で、それぞれ少しずつ馴染み、期待感を持つことができた。12月の交流では、子供たちの中に緊張感が出てきた。考えて行動できる力、どんなところでも乗り越えて進んでいける力を身につけていけるよう残り53日を子供たちの育成の力を加えていくとともに、1日1日を大切にしていきたい。
森小学校長	交流会では演奏会を実施した。4時間目の授業は参観会を実施した。PTA副会長に学校の校内案内役をしてもらい、保護者同士の交流を少し持つことができた。 交流は三倉小や天方小から来てもらうことが多いが、森小では友達の住む地区はどのような地区なのかを知るために交流の計画を立てた。3学期は三倉・天方へ出向いていって交流をする。 令和3年度の教育課程の編成作業がはじまった。学校教育目標はたくましくしなやかに学びつづける子として、三倉小・天方小・森小の校長を中心に検討して決めた。今後、学校経営目標や経営の重点について検討していくが、三小学校の職員が顔を合わせて、新しい森小学校の子供たちにどんな力を付けていくかを話し合っていく。先ほどから話題に出ている運動会やバザーについても、より良いものにしていくよう話し合っていく。
学校教育課長補佐	12月議会に統合の準備に必要な費用の補正予算を上程した。 森小の施設の整備として、ロッカー改修、低学年用下駄箱改修、教室・廊下の床塗り替え等の修繕費を計上、年度内に整備していく。また、備品の運搬、支給する学校指定用品等の費用も計上し、合計約1,200万円の補正予算となった。
三倉小学校教頭	(3)学校における統合に向けた取り組みついて、質問や意見はあるか。
天方小PTA	三小学校交流会を参観し、6年生と2年生の教室を観たが、授業の間ザワザワしていた。教科書を床に落としたままにしていたり、マスクを外して大声で騒いでいる子供がいた。支援員を増やしてほしい。
三倉小PTA	森小学校の年間の教育活動が分からないので示して欲しい。
天方小PTA	バス通学について、密になるバスもあり、不安を抱えている親もいると思う。年度途中で も改善してくれるとのことだったが、どこに意見を言えば良いのか。
三倉小PTA	2年生のクラスの人数が多いと感じた。圧迫感を感じた。クラスを増やすことを考えているか。現状で進めるのであれば、一人一人に目が行き届くようにするために支援員を配置して、子供が言いたいことも言えない状況で学校に行きたくなくならないように環境に気を配ってほしい。各学期ごと保護者が話し合える時間を作ってほしい。 三倉・天方地区の資源回収についてどのような形で進むのか知りたい。
三倉小PTA	新型コロナウイルスの対策をしている状況であるが、給食前の手洗いの時、手洗い場の前が密だった。また、各教室のアルコールの手指消毒が無かった。

発言者	内 容
学校教育課長	交流において学校の授業を参観した感想の中で、支援員を増員してほしいという意見があった。学級編成の基準、教員の定数は法律で決まっている。森小だけがクラスの人数が多いということはなく、標準的な人数となっている。統合後の教員の加配が予定されており、スクールカウンセラーの配置も考えている。児童と保護者の相談を受けられるような体制を作ろうとしている。
森小学校教頭	現在も、森小に支援員が配置されている。その年々、学校内の様子を見て、必要なところに重点的に支援員を配置している。クラスによって大丈夫なクラスが確定しているわけではない。今後、環境が大きく変わる子供たちがいるため、よく見て支援員の配置を流動的に考えていきたい。 森小の年間計画については、年度内に三倉小・天方小を通して配付する。保護者との話し合いの場も、来年度の計画を立てるときに検討する。資源回収については、今まで森小は地区ごとに取り組んでいたが、業者と相談し、森小学校内に資源回収ボックスを常設した。三倉地区天方地区については、森小まで持ってきてもらうことは困難なので、時期を決めて三倉地区天方地区へコンテナを置かせていただくようにお願いをしようと考えている。どの時期にどれ位の期間実施するかは業者を含め相談していく。消毒については、職員で子供たちが触るところを消毒している。受付に置いてあった除菌スプレーは主に来客用として置いている。児童は石けんを使った手洗いをしっかりするように指導している。水道やトイレの使い方については年度初めに、間を開ける、給食をもらいに行くときには3人までしか入らないなどのきまりを決めていたが、それでも場面場面でくっつきすぎている、混雑していくことがあったかと思う。今後継続的に指導していく。各教室にも手指消毒用の除菌スプレーは置いてあり、給食前には消毒を行うようにしている。使い方は担任によって違うが、随時行っている。今後もコロナ対策として、石けんによる手洗いとアルコール消毒をしっかりと行っていく。
森小学校校長	保護者と話し合う場については、各学期にさわやかトークとして希望制で放課後時間を 決めて実施している。それ以外でも参観会後の学級懇談会で担任と話し合う機会を設け る。コロナの影響で今年度は実施できていない。来年度は予定していきたい。
三倉小学校教頭	以前泉陽中の時には学期ごとに保護者と話し合う場があったのか。
三倉小PTA	泉陽中では学期ごとの様子が保護者全体に伝わる話し合いの場があった。小学校で保護者に伝わる機会があった方が良いと思う。現在の森中では、特に話し合う機会はない。
三倉小学校教頭	森小が統合した後、心配なことはクラス担任や森小へ相談してもらうと、そこから必要に応じて教育委員会や町へも伝えられる。
学校教育課長補佐	4連絡事項について
企画財政課長	学校跡地利活用について報告。先月24日学校跡地検討委員会を実施した。三倉小の 萩原校長、天方小の天野校長にも委員として参加していただいている。内容については 8月に実施した跡地利用のアンケートの調査結果を報告をした。アンケート結果は広報 12月号に掲載されている。アンケート結果、検討委員会の資料について町のホームペー ジにも掲載している。 これからアンケートの調査結果や、検討委員会の意見等を踏まえて、利活用の方向性 を検討していきたいと考えている。現時点での現状報告をした。
学校教育課課長補佐	次回の統合準備会について 2月16日火曜日文化会館小ホールで開催する。 1月26日火曜日三倉地区、1月27日水曜日午後7時30分から旧泉陽中体育館で地域 説明会を実施する。
学校教育課課長補佐	以上をもって閉会とする。(午後8時58分)